



学校だより

令和6年度小川中学校

令和6年4月10日発行

NO. 1

文責：梨子田昌央

祝 ご入学 ご進級

新入生17名(全校生徒51名)、新任職員7名(全職員20名)総勢71名で今年度の小川中学校がスタートしました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、進級された2年生、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。

小川中学校職員一同、校訓「勇猛精進」を精神的な支えとし、学校教育目標「つよく、やさしく、思慮深く」の生徒の姿を実現するために、保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをいただきながら、精一杯努めてまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。

令和6年度 小川中学校 教育目標と重点目標

「Wellbeing(ウェルビーイング)」自分もみんなも幸せが感じられる小川中

〔学校教育目標〕 『つよく、やさしく、思慮深く』

〔目指す生徒の姿〕 『つよく』 …強い意志と体を持ち、最後までやりぬく中学生

『やさしく』 …思いやりのある心豊かな中学生

『思慮深く』 …正しい判断と行動のできる明るい中学生

〔令和6年度の重点〕 ①「個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた学びへ」

②「多様性を認める心を育む環境」

③「志を立て、新たな自己を見つけ続ける生活」

〔校訓〕 「勇猛精進」～強い意思によって、油断なく心を集中して一心に進む～

<前期始業式 4月4日(木) 校長講話より>

おはようございます。一年生のみなさん改めて入学おめでとうございます。そして、二、三年生のみなさん進級おめでとうございます。

ただいま二年生の代表生徒古屋颯太さんから、学習と社会体育の両立を昨年以上に時間の使い方や勉強方法を工夫して頑張りたいこと、学級長として学級をまとめていきたいなど、新年度にかける豊富を語ってくれました。古屋さんの学級長としての活躍に期待しています。三年生の代表生徒峯村來空さんからは、生徒会、部活動で後輩を支えつつ、最後の若鷹祭を盛り上げたいこと、受験を学年みんなで乗り越えたいとありました。峯村さんには、強い気持ちを持ち続けて頑張る姿に期待しています。

さて、今日は前期のスタートにあたり、絵本作家の角野英子(かどのえいこ)さんのお話しをしたいと思います。角野さんは2000年に紫綬褒章、2014年旭日小綬章、2018年児童文学のノーベル賞と言われる国際アンデルセン作家賞など数々の賞を受賞されている方です。

角野さんは現在89歳ですが、昨年「魔法の文学館」を東京都江戸川区にオープンさせ、同館の館長を務めています。このような図書館です。

代表作は「魔女の宅急便」です。今から40年前に原作が発表され、ジブリで映画化されたのが35年前です。ちなみにジブリの宮崎駿さんは今年のアカデミー賞の長編アニメ部門を受賞されています。今回で2回目です。

この「魔女の宅急便」のストーリーを知っている人はいますか。知っている人が多いですね。このお話しは、主人公のキキ 13 歳が、魔女のしきたりに従って親元を離れ、知らない町で様々な人と出会い成長し、一人立ちしていく姿を描いた作品です。

みなさんは、この映画のあと、主人公のキキがどうなったか知っていますか。この映画の中で出会った飛行クラブの「トンボ」と結婚し、トト、ニニという双子の姉弟を産んで、その子どもたちが旅立つところで終わっています。興味ある人は図書館で借りて読んでみてください。

そんな角野さんが魔法の文学館の開館にあわせ、子どもたちへ望むこととして、雑誌社のインタビューに次のように答えています。

記者：以前から角野さんは「自由な心」の大切さを訴えてきました。

角野さん：自由な心がなければなにもできないでしょ。そして自分の言葉を持って生きてほしい。日本人にはもっと「自分の言葉」で表現してほしい。あらかじめ解答が決まっています、答え合わせをするようなことばかりになっていないかと危惧しています。

例えば、私の本を読んだ子どもたちからまとまって手紙が届くことがあるのですが、同じ大きさの紙に同じような書き方で、きれいに書いてあるものが目立ちます。先生の指導なのでしょうけれど、同じ形の中に子どもを押し込めたい、という意思を感じてしまうのです。私としては大きな紙に書いてもいいし、小さい紙に書いてもいい。大きな文字でも、小さな文字でも何でもいい。形にはめないで、感じたことを自由に書いてほしいのです。

今、戦争や気候変動など大変な時代になっています。自分も戦争経験者ですが、その時と現在のウクライナや中東も変わらないと思いました。戦争は常に悲惨なものです。自分の言葉を持っていないと、ずるずるとおかしなところに連れていかれてしまいます。ひとりひとりが自分の言葉で、自分の命のことを考えてほしいのです。

このお話を聞いて、角野さんの言う「自分の言葉」って何だろうと思いました。「自分の言葉を持ち、表現する」ってどうすればいいんだろう。それに「自分の言葉」はなぜ必要なのかも考えてみました。

まず「自分の言葉」の意味がよくわからないので、その反対の言葉で考えてみました。

それは、「借り物の言葉」です。借り物の言葉は、人から借りてきた言葉ですから、表面的で芯から理解していない言葉です。適切に使うことや、言い換えることが難しいので、例えば、友達に説明しようとしてもうまく伝えることができない言葉です。



魔女の宅急便 スタジオジブリ より

そう考えてみると、「自分の言葉」というのは、言葉や物事を深く、自分なりに理解して話す言葉のことだと考えました。だから、言葉を適切に使ったり、分かりやすく言い換えたりすることができる。もっと言えば、伝える相手が話す物事についてどれくらい分かっているかも理解して、話せる言葉が、「自分の言葉」だと思うのです。

みなさんも、友だちに物事を説明しようとした時に、相手に分かるように伝えられなかった経験がないでしょうか。その伝えられない原因は、次のいずれかだと思います。

一つ目は、物事の理解が自分のものになっていない。（情報不足）

二つ目は、理解したことを適切に表現するスキルがない。（語彙不足）です。

例えば、「三角形とはこういうものだ」を言葉で説明するとしたら、「三つの異なる頂点を三本の線分で結んだ図形」と言えます。これに当てはまるものは必ず三角形と言えます。そうでなければ 三角形ではありません。この三角形に対する理解と「異なる頂点」とか「線分」とかの言葉も使えないといけない、語彙力も必要ということです。

では、自分の言葉を持ち、表現していくためにはどうしたらいいのでしょうか。次の三つの方法が有効ではないかと考えています。

一つ目は、物事を理解しようとしたら、常に「つまりどういうこと？」かを考える。

二つ目は、必要な情報を大量に集めて整理、分析したことについて、話し合う機会を増やすことです。（大量インプット、大量アウトプットです。）

三つ目は、後で相手に「よく伝わったか」を振り返ることです。

この三つを行っていくと、物事の理解や話すスキルが向上して「自分の言葉」というのが出来上がってくるのではないかと思います。

紛争や気候変動など、簡単には解決できない課題が現代社会には多いです。そのような世界を生き抜いていくためには、様々な人々と協力して自分の言葉で納得できる解決方法を見つけていくことが大切だと思いませんか。

ですから、「自分の言葉を持ったり、表現したりする」ということは必要なんだと思いました。それが角野さんのいう自分の命を考える、自分を大切にすることにつながるのだと思いました。

あなたは自分の言葉って何だと思えますか。どういう意味だと思えますか。考えてみてください。

角野さんは若い頃、24歳の時に自主移民として当時移民を受け入れていたブラジルに渡っています。ブラジルでは働きながら暮らして、言葉が分からなかったけどワクワクした毎日だったそうです。

それでも言葉の壁などで大変な時期もあったのですが、その頃の事を角野さんは、「窓を開けたらすーっと風が入ってきたのね。それでなんかすごくよい気持ちでこの国で生きていけるなって思った。不思議な感覚だった」こんな風に言っています。

魔法の宅急便の冒頭で、キキがほうきに乗って飛び立つシーンで、キキは正面から風を受けます。そして、一つしか使えない空飛ぶ魔法の練習のために、木の上にくくりつけた鈴を鳴らして飛び立ちます。

この場面は、角野さんの強い希望でつくられました。それは、空を飛ぶ魔法をマスターし、一人立ちできる準備が整ったことを表し、角野さんの「ここでやっていける」という風から勇気もらった体験が反映されているのではと思っています。

ブラジルで2年経ち、ある程度お金が貯まった角野さんは、ヨーロッパを9000キロ回ってからカナダとニューヨークに寄って、日本へ帰国しました。帰ってきたときは一円もお金がなかったそうです。

「みんな先が見えないことを怖がるけど、先が見えないからこそおもしろいし、感動があると思います。」とも語られていました。

角野さんは現在89歳ですが、今でも新たなことに挑戦し続けているように、挑戦することに年齢は関係ありません。そんな角野さんを見ていると、ワクワクしながら挑戦を続けることが人生を豊に、幸せにする方法なのだと感じました。

みなさんも新たな出会い、風を受け、よいスタートを切ってください。



始業式での小林校長

<令和6年度 職員組織>

- ・校長：小林 浩一
- ・教頭：梨子田昌央
- ・教務主任：遠藤 公洋
- ・学年学級担任

学 年	氏 名		
1 学年	横澤 秀信	倉島 拓海	(畑中 浩美)
2 学年	山下 遥	西田 陽子	(遠藤 公洋)
3 学年	遠藤 芽衣	佐藤 昭彦	(鹿住 知香子)(半藤 有紀)(倉科 歩)
3 組	鹿住 知香子		
4 組	畑中 浩美		

研究主任	半藤 有紀	技術(兼務)	山上 道夫
学びのパイオニア	半藤 有紀 遠藤 芽衣	美術(兼務)	畑 幸子
特別支援教育コーディネーター	梨子田 昌央	村費 講師	西田 陽子
	畑中 浩美	村費 非常勤	小出 俊彦
登校支援コーディネーター	畑中 浩美	A L T	サラ・ワルソ
ステーション(校内中間教室)	半藤 有紀	校務手	和田 久憲
生徒指導主事	山下 遥	学校司書	太田 咲里
進路指導主事	佐藤 昭彦	学校医(内科)	小林 和生
保健主事	倉科 歩	(眼科)	小谷 幸雄
人権教育推進教員	鹿住 知香子	学校歯科医	高橋 優彰
養護教諭	倉科 歩	学校薬剤師	金川 和之
主 幹	宮尾 政成	スクールカウンセラー	丸山 歌織

☆このメンバーで本年度お世話になります。よろしく願いいたします。☆

保護者の皆様、生徒の皆さんへ

中学生は、思春期に入り、親や友達と異なる自分独自の内面の世界があることに気づきはじめるとともに、自意識と客観的事実との違いに悩み、様々な葛藤の中で、自らの生き方を模索しはじめる時期です。

小川中学校では、悩みごと相談室を保健室、校長室に併設して設置しております。
何かございましたら、どうぞ、ご利用ください。

《 連絡 》

○上履きについて お使いいただいている上履きですが、今年度購入分から靴の横のラインが青色のみとなります。学年色ではなくなりますので、ご承知おきください。

○先日、土曜おがわ未来塾の案内を配布しましたが、平日(月・水・木)のおがわ未来塾(村公設)の開始は、6月中旬を予定しています。通知にてお知らせします。

○自転車通学対象者で自転車通学を希望の生徒は、自転車許可証の提出をお願いします。